

学校評価シート（自己評価）

幼保連携型認定こども園岡田幼稚園

1、園の教育目標

本園は集団生活を通して、知的な面においても情緒的な面においても社会性においても子どもたちがより望ましく成長し発達していくことを目標とする。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ○ 喜んで登園する子どもに | ○ いつも目が輝いている子どもに |
| ○ 丈夫なからだをもった子どもに | ○ のびのびと表現し、喜んで創造する子どもに |
| ○ 友達とよく遊び、協力できる子どもに | ○ よく考え、豊かに想像する子どもに |
| ○ お話をよく聞き、自分の気持ちを言える子どもに | |

2、具体的な目標や計画

園の教育目標に基づいて、各自が評価項目に沿って自己評価を実施する。また、指導計画の再確認を行い、内容を検討して、保育内容の見直しや改善を行う。

子どもたちが自ら考え主体的に行動していく教育を念頭に、カリキュラムを考慮しながら教育活動を進める。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
指導計画について	A	日案・週案・月案を作成して、保育の流れを明確にするとともに子どもたちの姿を捉えて無理のない指導計画を作成した。また、ねらいや内容、環境の構成が適切であったかどうか、教育・保育の自己評価をして、日々の振り返り、保育内容の見直しや改善をした。
預かり保育について	A	今後の取り組むべき課題であった、預かり保育について、新2号認定は、月曜日から金曜日まで1年を通して預かり保育に入会できるよう変更することが出来た。今後も保護者の負担軽減を図り、見直しや改善をしていきたい。
BCPについて	A	BCPが作成され教職員で研修をして振り返りもできた。今年度の計画に対して、研修、振り返りを行い、次年度大規模な災害が起きたとしても、どのような場合になっても迅速に開園できるようにする。

避難訓練について	A	今年度は川越北消防署に来園して頂き避難訓練をすることが出来た。教職員は自己の役割を意識して園児が安全に避難できるよう導くことが出来た。消火訓練では、火の取り扱いについても教職員は真剣に取り組み、敏速に対応できるよう共通意識を高めることが出来た。
各種マニュアルについて	B	令和2年度に策定した各種マニュアルについて見直しをすることが出来た。認定こども園へ移行したことで、従来定めていたものとの違いがあった為、改善することができた。各種マニュアルについては、今後も定期的に改善し教職員間で共有を徹底する。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	教員は学校評価の趣旨を理解して取り組むことができた。 保育士等キャリアアップ研修に保育教諭が参加でき保育の質を高めることができた。今後も引き続き参加できるようにする。 目標であった、新2号認定の預かり保育の日数を増やすことが出来た。今後も預かり保育が子どもたちにとって安心で伸び伸びと園生活を送れる教育環境を作り、保育の質の向上を目指す。

○結果(※)について	
A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容	令和6年度の自己評価を受けて、今後も保育教諭が新しい課題を設けることで、自己成長に取り組んでいく。
研修	日程が定まっているため、保育教諭同士でよく話し合い、できる限り保育教諭がキャリアアップ研修に参加できるようにする。
小学校との連携	小学校との連携を強化して、幼児教育から学校教育へスムーズにいくことができるようにする。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼保連携型認定こども園岡田幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和7年2月8日（土）

9：00 ～ 9：45（時間）

出席者 評価委員（地域住民）2人

評価委員（評議員） 2人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

概ね目標に向かい達成されている。今後も保育者として、自らを評価して日々の保育を充実させる。

2. 評価結果の内容は適切であったか

概ね適切であった。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

概ね適切に設定されている。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

概ね適切だが、今後も課題に対してさらなる努力をもって取り組んでもらいたい。